

アカギヘリコプター株式会社所属カマン式K-1200型JA6200の
航空事故調査について
(経過報告)

令和4年8月25日
運輸安全委員会（航空部会）

運輸安全委員会は、令和3年9月20日、長野県木曾郡大桑村の山中においてアカギヘリコプター株式会社所属カマン式K-1200型JA6200が木材搬出のためホバリング中、エンジンが停止して墜落した航空事故について、令和3年9月から原因を究明するための調査を進めてきたところであるが、これまでの調査で得られた情報をもとに、さらに分析を進め、調査結果について原因関係者からの意見聴取及び調査参加国への意見照会を行う必要がある。このため、本件調査については、本事故が発生した日から1年以内に調査を終えることが困難であると見込まれる状況にあることから、運輸安全委員会設置法第25条第4項の規定に基づき、以下のとおり当該調査の経過を報告する。

なお、本経過報告の内容については、今後、新たな情報の入手等により、修正されることがあり得る。

また、本調査は、本件航空事故に関し、運輸安全委員会設置法及び国際民間航空条約第13附属書に従い、航空事故及び事故に伴い発生した被害の原因を究明し、事故等の防止及び被害の軽減に寄与することを目的として行うものであり、本事故の責任を問うために行うものではない。

1. 航空事故の概要

アカギヘリコプター株式会社所属カマン式K-1200型JA6200は、令和3年9月20日（月）、木材搬出のためホバリング中、エンジンが停止して墜落した。

同機には、機長のみが搭乗しており、軽傷を負った。

2. 調査の概要

運輸安全委員会は、航空事故として通報を受けて本事故の調査を担当する主管調査官ほか1名の航空事故調査官を指名した。現時点までに関係者からの口述聴取、航空機各部の損傷の調査等を実施した。また、エンジンの設計・製造者によるエンジンの分解調査を実施中である。

本調査には、事故機の設計・製造国であるアメリカ合衆国の代表及び顧問が参加している。

3. 判明している主な事実情報

(1) 飛行の経過

同機は、木材搬出のため、機長のみが操縦席に着座して、長野県木曾郡大桑村の殿奥場外離着陸場を13時01分に離陸した。同場外の東約2kmに位置する山中で、木材をつり下げる作業のためホバリングを行っていたところ、機長は、エンジン停止を感知した。機長は、地上作業員を巻き込まないように機体を操縦し、同機は、ホバリング位置から約20m南側の山中に墜落した。



図 事故機

(2) 死傷者

機長軽傷

(3) 航空機の損壊

大破：胴体及びテールブーム損傷、垂直フィン破断、ローター・ブレード全4本破断
ウインドシールド破損、エンジン損壊

(4) 気象

機長の口述によれば、本事故発生現場付近の天気は晴れ、風はほぼ無風で、視程は10km以上であった。

4. 今後の調査

本航空事故の原因及び本航空事故に伴い発生した被害の原因の究明並びに事故の再発防止策の検討のため、本委員会は、エンジンの設計・製造者とともにエンジンの分解調査を実施中である。また、更なる分析のほか、調査結果について原因関係者からの意見聴取及び調査参加国への意見照会を行う必要がある。

本委員会は、これらの調査、分析等によって得られた結果を踏まえて、本航空事故の原因等の調査を進める。